



学校だより (24)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

「続けること」の大切さ

校長 福原輝幸

昔から「継続（けいぞく）は力なり」と言う言葉があります。

子育ての一つの方法として「どんな小さなことでもよいから、毎日続けさせること。そして、続けていることをほめてあげること。そうすれば、子どもに「やったあー」とか「出来たあー」という自信が生まれ、光り輝くようになるでしょう。

このことは、子どもたちに必要な時には、いつも話しています。

詞集（ししゅう）「たいまつ」の著者（ちよしゃ）むの たけじさんは、このことに関連（かんれん）して、次のように述べておられます。

「いったんこうと決めたら迷わず、少なくとも10年は続けなさい。一つのことを10年続けて、結果『徒勞（とらう）』と言うことは決してあり得ない。と自分に言い聞かせ、人にもすすめてきたのは『土』に学んでのことです」「処女地（しょじょち）を切り開いて、田畑として熟（じゅく）させるには、少なくとも10年はかかります。反対に言えば、どんな荒地であって10年耕せば、必ずそれなりの実りに達するものです」「自然界の摂理（せつり）は、そのまま人間界にも必ず当てはまると信じています」と。

「継続は力なり」この言葉をじっくりかみしめたいものです。

最近のとどめておきたい かみしめたい言葉

- 1、仕事の出来る人が持っている
「5つのあ」とは。
1つは「あいさつ」が出来ること。
2つは「ありがとう」が言えること。
3つは「あやまること」が出来ること。
4つは「あたまを下げること」が出来ること。
5つは「あたらしいことに、積極的に取り組める」こと。
- 2、「社会や周りが大きく変化していく中で生き延びることの出来る人は、その大多数は、力のある人でも、頭のよい人でもありません」「社会や周りの変化に対応でき、自ら変化の出来る人です」とは、チャールズ・ダーウィンの著「進化論」の中での言葉です。
- 3、台湾の謝 長延元行政院長（日本の首相）は、自分の生き方を中華料理に例えて、次のように述べています。
「中華テーブルの遠くにある中華料理に無理にはしを伸ばせば、そで口に取り皿のしょうゆがついて、みっともないことこの上もありません」「料理は回って来た時に取れば、自然でマナーもいいでしょう」

小6 修学旅行終わる

10月10日11日の修学旅行は、移民資料館見学・裏千家茶道体験、パールハーバー（アリゾナ廟・ミズーリ号等）での学習、タートルベイリゾートホテルでの宿泊、ドールプランテーションでの土産購入など全行程を事故なく終えることが出来ました。

よい思い出づくりが出来たことでしょう。